

9. 就学前の学校への情報提供（基本的に保護者が作成してそれを添削）

例文

通常学級用

*自治体のサポートブックなどもありますが、長くて記述がとびとびになりにかなか読んでもらえないので、A4版で2枚以内でまとめてくださいとお願いしています。

〇〇小学校の先生方へ

（子どもの現状）

- ①トイレ，食事，着替えなどは自分でできます。
- ②会話については一方的になりがちですが，ゆっくり説明すれば理解できます。
- ③文字はひらがなの清音の読み書きはできます。数字も書くことができ，簡単な足し算はできます。
- ④偏食はありますが，少しずつ改善しています。感覚過敏はありません。
- ⑤アレルギーはアトピー性皮膚炎がありますが，現在は落ち着いています。
- ⑥けいれんやてんかん発作などはありません。

（就学後にお願いしたいこと）

1. 教室の席順

- 可能であれば慣れるまでの期間は最前列の中央でお願いいたします。
慣れてきたらほかの子どもの行動をみて動けるように2～3列目が希望です。

2. 指示

- 何かの動作を全体的に指示するとき，同時に3工程以上の動作をまとめて話すと聞き取りが弱いことや並列処理が苦手なため，わからなくなってやらずにいることがあります。「今は〇〇をします」と，1つずつ正面からはっきりと声かけしていただくと失敗が減ります。
- 表現の指示
「廊下は静かに」「もっと小さい声で」など，具体的でない指示は，どのく

らの静かさが、量や大きさが目に見えない物を判断することが苦手であるため「何度言っても、大きな声を出して直そうとしない」という状況になりがちです。

3. 注意の仕方

- 「～をしては だめ」という禁止語で注意をするとすねたり、あばれたりします。

「～できるようになると、もっといいと思うよ」や、はっきりと「Aくんは好きだけど、こういうところは直してほしい」という伝え方をすると、すんなりと納得します。

4. トラブルになりやすい原因

- 曖昧な表現（抽象的な表現）は理解することが苦手なため、良い悪い、好き嫌いの基準がとても極端です。自分の判断基準を友達にも従わせようとし、はげしく怒鳴ったりする場面があると友だちとのトラブルになります。
- 集団行動が苦手（聴覚・視覚の情報選別問題も有）
- 一番になることが好き
- ルールのある遊び、運動のルールが理解できない

5. トラブルがこじれた場合

- 泣いて暴れることもあります。静かな場所に移動させて「落ち着くように」と声かけすれば落ち着くことが多いです。

実際、学校生活が始まってみないとわからないこともあり、なにかとお手を煩わすこともでてくるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。
なおこの文書は主治医のチェックを受けています。